

## 「すべてをはるかに超えて行う方」 エペソ3：19-21

堀田修一 19・10・27

導入：私の毎週の説教の準備の為に、お祈り下さり心から感謝します。私は、祈りつつ説教を準備する時、3つの事を大切にしています。

①聖書を忠実に説き明かす。原語、文脈を大切に。

②分かり易く、深く説き明かす。

③聞く方々の生活に適用できるように。昔の神ではなく、今も働かれている事を確信する説教。語る私自身が、御言葉に生き、神を日常生活の中で体験しつつ。続けてお祈り下さい。

### I 「そのようにして、神の満ちあふれる豊かさにまで、あなたがたが満たされますように」：19。

1. 「神ご自身の満ち満ちたさま」そのもののお方は、キリスト御自身。次の御言葉から分かる。「私たちはみな、この方（キリスト）の満ちた豊かさの中から、恵みの上にさらに恵みを受けた」（ヨハネ1：16）。「神はみこころによって、満ち満ちた神の本質を御子のうちに宿らせ」（コロサイ1：19）。「キリストのうちにこそ、神の満ち満ちた御性質が形をとって宿っています。そしてあなたがたは、キリストにあって（霊的につながって＝信仰、礼拝、ディボーション、御言葉を分かち合い、主を中心に互いに祈り合う）、満ち満ちているのです」（2：9, 10）。

2. 神ご自身の満ち満ちたさまに満たされるには＝

①「キリストが、あなたがたの信仰によって、あなたがたのうちに住んでいて」下さる恵みにより。：17。神ご自身の満ち満ちたさまであるキリストご自身を、日々、自分の心の隅ではなく、王座に迎える、心の中心に住んでいただく者でありますように。

②：17-19の前半。私達がキリストの愛に根ざし、基礎を置き、「すべての聖徒とともに、その広さ（私達の愛は狭い。しかし、主の愛は広く、誰も差別せず受け入れて下さる広い愛）、長さ（私達の愛は短い。忍耐が短い。しかし主の愛は長い。短気ではなく、長く苦しみを共にし、忍耐し支えられ、私達が死んだ後も天国で永遠に続く愛）、高さ（私達の愛は低い。主の愛は高く、私達には、理解できない事がある。しかし、主は最善の事をして下さる）、深さ（私達の愛は浅い。しかし主の愛は深い。奥深い。私達が深いどん底に落ちて、その深い所に共におられ、私達を愛し支えて下さる）を理解し続けることが出来ますようにと祈り求める事によって。

③キリストのからだであり、キリストが満ちておられる教会につながり、キリストの恵みに満たされる事によって。

④御言葉を分かち合い祈り合う事により。

⑤「すべての聖徒のために、忍耐の限りを尽くし、また祈りなさい」6：18。教会全体で祈り合う事により。「祈りのノート」が用いられますように。※以前仕えていた教会で、互いに祈り合う「祈りのしおり」を始めた証し。

⑥内住の御霊なる神の働き「私たちはみな…栄光から栄光へと、主と同じかたちに姿を変えられて行きます。これはまさに、御霊なる主の働きによるのです」（Ⅱコリ3：18）。

⑦御言葉により。「みことばは、あなたがたを育成し」（使徒20：32）。命の御言葉は、私達を育成し、神の満ち満ちた姿に成長させて下さる。毎日の御言葉や教会に祈られた結晶として礼拝説教の御言葉で養われる事は幸いな事。⑧日常の辛い出来事を通しての御父の愛の訓練により。苦しみを通して、ある事に気付かせられ、悔い改め、もっと神に抛り頼む者へ。「霊の父は、私たちの益のため、私たちをご自分の聖さ（御性質）にあずからせようとして、懲らしめる（訓練される）のです。すべての懲らしめ（訓練）は、そのときは喜ばしいものではなく、かえって悲しく思われるものですが、後になると、これによって訓練された人々

に平安な義の実（義なる主のご性質に似る実、御霊の実：愛、喜び、平安、寛容、親切、善意、誠実、柔和、自制）を結ばせます」（ヘブル12：10，11）。私達キリスト者の目標は、主を信じ洗礼を受ける事がゴールではなく（洗礼はスタート）、洗礼後の主と共なる歩みにおいて、試練があっても、神の満ち満ちたさまにまで満たされ主の姿に変えられ続け成長し続ける事。

Ⅱ：20，21。頌栄をもって1-3章が締めくくられる。頌栄とは、「神に栄光があるように」という願望を表す言葉。頌栄は、結びに出て来る。「アーメン」が最後にある。「アーメン（本当に、確かにの意）」＝神への祈り、賛美に対し同意を示す言葉。

1. 「どうか、私たちのうちに働く力（内住の主なる神の力、聖霊が与えて下さる信仰の力、祈り求める力）によって、私たちの願うところ、思うところのすべてをはるかに超えて行うことのできる方に」：20。

1-3章に記されたすべての救い、恵み、他すべての必要を私達に施すことのできる神に。

2. 「教会により」。教会が主の栄光の姿に育成され続け神の栄光（偉大さ、聖さ、愛）を現わす事により、礼拝において心から神の栄光（素晴らしさ）をほめたたえることにより。「キリスト・イエスにより」。2：13-16の御業をなさったキリストの中に神の栄光・御性質を見ることが出来、神に栄光を帰す。また、このキリストにより大胆に確信をもって神に近づき、神の栄光をほめたたえることが出来る。

3. 「世々にわたって、とこしえまでありますように」。神の栄光は永遠に！獄中にあってもパウロの願いはこれでした。私たち人間が神に愛され、神に造られ命をいただき、神に救われ、永遠の命（永遠に神を知り続け神と深く交わる事ができる命）をいただいた究極の目的は、主の教会に共に連なり、神の恵み、主の愛を知り続け、すべての栄光・感謝・賛美をすべての与え主の神に帰し、神を礼拝し、神の栄光をたたえ、神の栄光を現わして生きる事です。

「あなた方は、代価（主の十字架の尊い血、命）を払って買い取られたのです。ですから、自分のからだをもって神の栄光を現わしなさい」Ⅰコリ6：20、「あなたがたは、食べるにも飲むにも、何をするにも、すべての神の栄光を現わすためにしなさい」10：31。

Ⅲ 「すべてをはるかに超えて行うことのできる方、神」は、現在、今も生きて働かれている恵みの証し。

1. ある方への御力の支え。試練の中での御力の支え。
2. 私自身への「願うところ、思うところのすべてをはるかに超えた」恵み、御業！主に救われたのも奇蹟、ここまで、支えられたのも奇蹟「すべてをはるかに超えて行う方」の恵み。
3. ある教会への「願うところ、思うところのすべてをはるかに超えた」恵み、御業！→試練・悔い改めとへりくだり・共に祈り・すべてをはるかに超えて行う方の御業「宣教と成長」の前進！
4. ある教会への「願うところ、思うところのすべてをはるかに超えた」恵み、御業！→試練・悔い改めとへりくだり・共に祈り・すべてをはるかに超えて行う方の御業「宣教と成長」の前進！
5. 当教会に対する55年間の神の恵み。試練があり、神の祝福があり。ここまで与え続けられている神の恵みを感謝します！

①1973年：最初の会堂の献堂式。

②1996年：北海道聖書学院より土地175坪購入の契約を交わす。

③1999年：現在の会堂の献堂式。

④2019年：現在の会堂返済の完済の予定→来年

「私たちのうちに働く御力によって」：20＝神による祈りの力、神の恵みへの感謝から生まれる奉げ物により。私達の願い、思いのすべてを越えて豊かに施して下さる神に感謝！各教会に神の恵みが！

すべての与え主の神に、栄光が、とこしえまでありますように。アーメン